

## 巻頭言

# 心理学部の設立

跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科  
学部長 野島 一彦

2002年度設立の文学部臨床心理学科は、現代の心の問題の複雑化・多様化への対応、国家資格としての公認心理師への対応のため、2018年度より関東圏の女子大学では唯一の心理学部臨床心理学科としてスタートしました。

本学部では、学祖である跡見花蹊が目指した、「純粋学問」のみならず「応用学問」および「実践的分野」をも射程に入れたバランスのとれた教養人の養成を、心理学、臨床心理学の知識と技術を活用して行います。

学生の志向する姿として3つのモデルを想定しています。

1. 心理専門職(プロフェッショナル)モデル=公認心理師、臨床心理士などの資格を取得し、教育、保健医療、福祉、司法・犯罪、産業・労働等の分野における心理専門職を目指す。
2. 心理学の知識・スキルを職業(ワーク)に活かすモデル=心理学、臨床心理学の幅広い知識と能力を活用し、人事・労務、接客、企画、広報、マーケティング等の仕事に役立てようとする。
3. 心理学的・臨床心理学的素養を人生(ライフ)に活かすモデル=心理学、臨床心理学の幅広い知識と能力を活用し、自身の精神的健康、人間関係、子育て、家族関係、介護等において豊かに、より良く生きようとする。

担当教員は10名です。学生定員は文学部臨床心理学科と同じ1学年120名、4学年で480名です。

ちなみに、人文科学研究科臨床心理学専攻は、学生定員は1学年12名、2学年で24名と以前と同じですが、公認心理師への対応のため教育課程に大きな変化がありました。従来は臨床心理士養成のみでしたが、このたび公認心理師養成も行うということで、ダブル資格取得を目指すことになり、10科目を増やすことになりました。

殆どの担当教員は学部と大学院の両方に関わっており、非常に多忙ですが、国民の心の健康の保持増進のための教育に熱心に取り組んでおります。